

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス みらいる			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 29日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	8人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 8日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	5領域に沿った集団活動や課題を取り入れた療育を実施しているところ	毎月5領域を意識した集団活動を取り入れており、毎日同じ活動が被らない様に工夫している。 定期的に新しい活動を取り入れ、ご利用者様も参加しやすい環境を提供している	利用者の興味や得意・不得意を考慮した活動を実施していく
2	職員間で利用者の情報共有を行っており、利用者一人ひとりに沿った支援を実施している	毎朝実施しているミーティングや送迎後等の時間を利用して、利用者様の情報共有し、最近の様子も加味しながら当人に合わせた療育を検討・実施している	職員間でより密に話し合いの機会を設け、情報共有を実施していく。必要に応じて保護者様と送迎等対面の機会を利用して密に連携していく。
3	定期的にホームページやSNS等活用して、活動概要や行事の様子を公表し、子供や保護者に対して発信している	イベント行事や集団活動などに行った内容をSNSで更新を行っている	さまざまな体験ができる行事の立案や、5領域に沿った集団活動を固定化しない様に更新していく。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携がない (児童クラブや児童館などの地域との交流が乏しい)	主に事業所内での療育が中心となっており、児童クラブ等に通っている地域の児童との接触が少ないと、当事業所の利用者の特性上交流が難しいと感じる	地域のイベント等に参加させてもらい、他者・他児との交流の機会を作っていく
2	保護者に対して、ペアレントトレーニングの方法や研修会開催等に関する情報共有の頻度が少ない	保護者から相談があったり、依頼があったときは対応しているが、こちらから積極的な発信はなかった	今後は積極的に情報提供を保護者に行い、共有していく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス みらい
------	----------------

公表日 年月日

利用児童数 34

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	6		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		1	たくさんのお員さんとふれあい、楽し く過ごしているようです。 職員は配置をさせていただいてます。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			8	バリアフリー化されていない必要は ないと思う	事業所内で可能な設備は整えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思います か。また、子どもの活動に合わせた空間となっていますか。	13	1		3		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	15	1		1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析され、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成さ れていると思いますか。	16	1			いつも細かく子どもの様子を聞いてい ただき、丁寧に支援していただきあり がたいです。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	16	1				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	16			1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機 会がありますか。	2		3	12	児童クラブ等の交流はなくてよい	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	16	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	15	2				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニ ング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています か。	4	1	3	9		
保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況 について共通理解がでていると思いますか。	16	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14		1	2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交 流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きよ うだい会やイベントの開催等により、きようだい会の交流の機会が 設けられるなど、きようだい会の支援がされていますか。	3		5	9	保護者会は別の団体で参加するので放 デイで支援しなくてよい。必要として いないです。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、子どもと保護者に対するような場があることについて 周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されてい ますか。	15	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	16			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発 信されていますか。	15	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュ アル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な 訓練が行われていますか。	14			3		
非常時等の対応	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	15	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		2	けが等をしたことがないためわからない	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2			いつも行くのを楽しみにしています	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	3				
満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	17					

事業所名		チェック			評議会実施すべき点	
		はい	いいえ	工夫している点		
従業員評議会	1 利用定員が発達障害児等の介護などの目的で利用できるか。	5	3	高齢者が増えていることの影響で缺勤が多い		
	2 利用定員や子どもの配当数等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8				
	3 生活支援室は、こどもの力でやりくりして運営されている間にになっているか。	3	5	トイレ介助の問題解決を図るため、職員が入り、車いすを利用する利用者は受け入れ難い状況にあります。		
	4 まつ立保育園は、満足度、安心度、信頼度等の評議会に参加しているか。また、こども達の活動に合意した実際はなっているか。	6	2			
	5 必要に応じて、こども達の個別の状況や場所で使用することが認められる場合にないですか。	8				
業務改善改修	6 営業改善改修を始めたときのPCA サイクル（目標設定と振り返り）に、工夫が施されているか。	8				
	7 保護者に対する面接により、保護者等の意見を考慮する機会を行っており、その内容を業務改修につなげているか。	8				
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改修につなげているか。	8				
	9 事業者による外部評議を行い、評議会結果を業務改修につなげているか。	8				
	10 職員の意見を反映させたときに、相談を受ける機会や法人内側で評議会結果を反映させているか。	8		研修を受けた職員が、他の職員に教えています。		
適切な支援の提供	11 週間に複数プログラムを作成、公表されているか。	8				
	12 個々のこどもに対してセミストップを実行し、こどもと保護者のニーズと課題を個別に分離して、既存業務やサービスに対する面を重視するか。	8				
	13 保護者に対するサービス面の改善を図るために、担当者と直接連絡取扱いをするか。また、外注する場合は、外注元と連絡取扱いをするか。	8				
	14 既存業務テクニカル面の問題を共有するか。評議会に沿った支援が行われているか。	8				
	15 こども達の行動の特徴を、標準化されたルールをもとにしたオーマルニアアドメット・日中の行動観察なども含むフィードバックアセスメントを実行するか。また、評議会開催時に「行動規範」及び「行動規範・実施規範」のどちらかだけではなく、どちらも実施するか。	8				
開発的支援	16 既存業務テクニカル面の問題を、既存業務に沿ったルールをもとにしたオーマルニアアドメット・日中の行動観察なども含むフィードバックアセスメントを実行するか。また、評議会開催時に「行動規範」及び「行動規範・実施規範」のどちらかだけではなく、どちらも実施するか。	8				
	17 活動プログラムの企画や企画チームを行っているか。	8				
	18 活動プログラムを設定していないか。	8				
	19 こどもの状況に応じて、個別訪問と集団訪問のみならず訪問相談サービス面を作成し、実施を行っているか。	8				
	20 受講料無料には既存の心打掛けを行い、その目次がそのままの内容で複数分割して理解し、チームで実施して実習を行っているか。	8				
開発的支援者との連携	21 受講料無料には既存の心打掛けを行い、その目次がそのままの内容で複数分割して理解し、チームで実施して実習を行っているか。	8				
	22 日の行程を聞いて記録をとることを怠り、実施の検証・改修につなげていないか。	8				
	23 定期的にミーティングを行い、既存業務テクニカル面の見直しの必要性を評議し、既存業務を実施しているか。	8				
	24 既存業務テクニカル面の見直しを行っているか。	8				
	25 これまで自己満足でよくなる現状の工法で作られている等、自己決定をする力を育てるための実習を行っているか。	8				
保護者への支援	26 既存業務と既存業務所のサービス相談会合や開発会議との会合に、その内容を改めてよく理解し実施しているか。	8				
	27 現在の状況、医療（生年月日・既往歴・既往疾患）、障害福祉、保健・教育の各専門機関と連携して情報を交換・共有しているか。	7	1			
	28 学校との連携会合（年間計画・行事予定等の交換、ごとの下校時刻の調整等）を通じて連絡・調整（実施時間・実施場所・トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8				
	29 既存業務と既存業務所との連絡会合を行っているか。	7	1			
	30 既存業務をより効率的・効果的に運営するための実習を行っているか。	7	1			
保護者への説明等	31 地域の児童発達支援センターとの連絡会合、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	児童クラブ等の会合でなかなか交流が難しい		
	32 既存業務が児童や児童園との連絡、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3			
	33 既存業務・協議会等・精神的援助等を行っているか。	5	2			
	34 由ゆからこどもの状況を保護者と伝えやすい、こどもの両角の状況や課題について保護者と連絡を取っているか。	8				
	35 重要な現状の変化を保護者と連絡する場所や連絡の頻度を明確にしているか。	7	1			
保護者への説明等	36 保護者説明、支度会等、利害者会等について丁寧な説明を行っているか。	8				
	37 既存業務テクニカル面の見直しを行っているか。	8				
	38 「保護者等サービス対応」を示すかが実習内容の現状を示すか、保護者から既存業務テクニカル面の用語を用いているか。	8				
	39 保護者等から子育ての悩みについての相談に応じ、問題や必要な支援を実施しているか。	8				
	40 父母の立場の変動を察するなど、保護者等が抱える問題にあり、保護者等と交換する機会を設けるかの実績をしているか。	5	3	ヨコハマ市立保育園でのため、実施ができないといったが、今後実施予定となっている		
保護者への説明等	41 こども保護者の立場について、保護者の立場を察するとともに、こども保護者に周囲の、資源が少なかった場合に適切に対応するなど、保護者等と交換する機会を設けているか。	8				
	42 支度会等の準備等を負担することなく、通勤や通学の負担を軽減するなど、地域に向けた事務運営を行っているか。	8				
	43 個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	8				
	44 保護者の立場などから保護者との密接な経験や情報伝達のための配慮をしているか。	8				
	45 事業所の立場に地域住民を得る等、地域に向けた事務運営を行っているか。	5	3			
保護者への対応等	46 事務的マニュアル、整備対応マニュアル、修復マニュアル、巡回対応マニュアル等の各マニュアルに、各マニュアルに記載する内容に付随して、何を実施して問題を解決していくか。	8				
	47 整備対応規程（BCG）を実施するなどに、各整備規程の発生に備え、定期的・定期的・既存のための実施を行っているか。	8				
	48 事務に、施設や外構等、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8				
	49 食物アレルギーのあるこどものために、既存の調理面に基づく対応がされているか。	8				
	50 安全計画を策定し、安全管理に必要な組織や制度、その必要な措置を実施等、安全管理体制を設けた上で実施を行っているか。	8				
保護者への対応等	51 こども保護者の立場について、保護者等の過敏が認められよう、安全面に基礎づく問題等について、保護者等・周囲しているか。	8				
	52 ニセイリバーオンを事業所内で利用し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	8				
	53 どのような場合で代理者登録や身分証明書提出を行うかについて、組織的に決済し、こども保護者と事業所に分別して実施し結果を記入して、既存業務等データに記入しているか。	8				
	54 既存業務データに記入しているか。	8				